

## 直川地域の皆さまへ

# 直川地域の新たな地域コミュニティ組織の検討結果をお知らせ致します

昨年12月のアンケート調査につきましては、ご協力を頂き誠にありがとうございました。アンケート結果等をもとに組織の必要性について様々な角度から検討した結果を、アンケート調査結果とともに地域の皆さんにお知らせ致します。

直川地域新たな地域コミュニティ組織を考える会 会長 芦刈 紀生



▲第4回考える会の様子

直川地域は、佐伯市が進める地域コミュニティ組織づくりに取り組むモデル地域として、区長会での説明、地区毎の意見交換会、直川地域について話そう会を経て、区長会三役を含む各団体代表者の方々等にお集まり頂き、新たな地域コミュニティ組織が必要かどうかを考える会を設置し、数回の会議を行い検討して参りました。3月8日に最後の会議を開き、58.5%の地域の皆さんが新しい組織を作ることに賛成したことを含むアンケート調査結果、これまで話し合ってきた課題やらなければならないこと、先進地研修など様々な角度から総合的に判断した結果、考える会としては会員全員が「設置すべきである」という結論に至り、区長会で報告いたしました。

今後は、「新たな地域コミュニティ組織設立準備会（仮称）」を立ち上げ、直川地域の皆さんが不便なく暮らせ、かつ元気な地域であり続けられる取組が実現できる様に進めて参りたいと思いますので、よろしくお願い致します。また皆さんからご提出頂いたアンケートには貴重なご意見が多く、今後の活動の中で、地域に必要で実現できそうなものは取り組む様、進めていければと思います。

### ▼直川地域の主な取組

- ・新たな地域コミュニティづくりに関する意見交換会→7/26~8/3 大字毎全6回開催
- ・直川地域について話そう！1回目→8/10 直川地区区長会・直川地区社協中心に開催
- ・直川地域について話そう！2回目→10/1 若者・女性を中心に開催

### ▼考える会としての取組

- ・新たな地域コミュニティ組織を考える会（1回目）
- ・新たな地域コミュニティ組織を考える会（2回目）→アンケート調査今後の取組など協議
- ・直川地域住民アンケート調査→12/1~12/24
- ・新たな地域コミュニティ組織を考える会→中津江振興協議会研修
- ・新たな地域コミュニティ組織を考える会（3回目）→大田ふるさとづくり協議会ズーム講演
- ・新たな地域コミュニティ組織を考える会（4回目）→アンケート結果分析、最終結論議論
- ・区長会に報告→3/22

# アンケート結果のお知らせ

12月に全戸にご協力頂いたアンケート調査結果をお知らせ致します。回答率は72.5%で、新しい組織を創ることに賛成の方は666人(58.5%)でトップでした。2位が現状のまま330人(29.0%)、3位が他の方法74人(6.5%)、4位がその他69人でした。また地域課題のトップ10は、1位が交通の便が悪い(高齢者の移動手段や買い物・通学・病院など)、2位子どもが少なく活気がない、3位お店がなく買い物が不便、4位働く場所の選択枝が少ない、5位若者が少なくいろいろなことが出来ない、6位後継者不足、7位草刈作業が大変、8位鳥獣害が多く田畑が荒れる、9位地域や近所の繋がりが弱くなり、地区での話し合いが少なくなった、10位高齢者の見守りが課題である、でした。



考える会では、アンケート結果の分析を行った「一般社団法人コミュニティサポートおおいた」の山浦陽一先生(大分大学准教授/農村研究)から説明を受け、班毎に分析結果について話し合いました。その後、これまで行った「話す会」「考える会」で出された地域課題と担い手について、さらに日田市中津江・杵築市大田の先進地事例についてグループワークを行い、新組織の必要性を議論した結果、考える会としては新組織設置を目指すべきという最終的な総合判断に至りました。

直川は今年1月末で人口1,890人となりました(高齢化率54.97%)。

20年後には直川人口1,034人という人口推計も出ており、このまま減り続けた場合に地域の10年後、20年後はどうなるのかということが心配されているところです。そのような中、全国の多くの自治体で取り組まれている地域コミュニティ組織(地域運営組織)を立ち上げて、地域の皆さんが困らない様な、かつ、地域が元気になる様な取組を推し進めていこうとするものです。

この活動は、大分県内でも先進地事例として研修した中津江地域・大田地域をはじめ約4割の地域で既に取り組まれています。

\* 直川地域新たな地域コミュニティ組織を考える会

\* 佐伯市役所コミュニティ創生課・佐伯市直川振興局